

村のぱん屋・SUN だより

第 7 号



2011年8月

NPO法人 村のぱん屋・SUN

〒871-0904

築上郡上毛町安雲1番地1

TEL / FAX 0979 - 72 - 1615

E-mail muranopanya.sun@flute.ocn.ne.jp

HP <http://web01.com/panyasun-aguri/>

村のぱん屋・SUN との出会い

臨床心理士 竹長 イツ子

理事長の小川さん宅を訪ねたときに「少し小振りで、小腹が空いたときに食べるのに丁度よい大きさなの」とバスケットにかわいらしく並んだパンの味見をさせて頂いたのは、もう、20年も前のことになります。小川さんは家族とともに、味・大きさ・見栄えなど、さまざまな工夫を凝らしてパンを作り続けていました。メロンパンについては、表面の模様がどうしたらメロンらしくなるのか何度も創作を繰り返し、ようやくそれらしい模様にとどり着いたと大喜びしていました。多くの方にこのパンを味わい癒しんでもらいたい、そんな気持ちが伝わってきました。

「誰でもが自分に見合った就労の場を見つけ、自立への一歩を歩き始めることができるように。ひとりぼっちがなくなるように。」そんな願いを込めて、長い時間と深い思索と努力の末に、パン屋さん開設の準備が整えられ開設にこぎつけました。

パン屋さんのお名前が「村のぱん屋・SUN」その名前を聞いたときに、わたしはとてもうれしかったです。パン屋さんで働く皆さんやパンを買って食べて下さる方々だけでなく、その地域でくらす方々が、ひとりぼっちでさびしい思いをすることがないように、地域のよりどころとして進化していく可能性をもっているように感じたからです。10周年をすぎた、昨年には小さい喫茶コーナーが併設され、パンを買うためだけでなく、食事や喫茶のために訪れ、椅子に座り談笑していく場所ができ、地域の居場所へ一歩前進しました。

10年前、総勢10数人で始まった「村のぱん屋・SUN」も総勢39人という多人数の共働体になりました。よりよいパン作りのための創造は、いまなお皆さんの力で続けられています。そして、ここで働くすべての皆さん(利用者もボランティアも職員も)が、存分に自己発揮できるよう、そして、みんなが働きやすい職場となるようにと、職員で熱心に話し合い知恵を出し合っています。

わたしは、月に一回のミーティングにスーパーバイザーとして参加して、協働のこころを学ばせてもらっています。「村のぱん屋・SUN」のように真の自立を求める場所が、たくさんできることを願っています。



－1年間の主な出来事・活動－

イベント・バザー参加	17回
パン教室	2回
クリスマスケーキ受注	200個
バレンタインチョコケーキ受注	2,035個
吉富中学校2年生職場体験実習	3名受け入れ
カフェ・ラポール 見学	23名
築城養護学校保護者 見学	20名

－村のぱん屋・SUNで働いている人－

利用者(従業員)	25名
職員	6名
パート	8名
ボランティア	数名

H.23年7月31日現在

村のぱん屋・SUNを利用して思う事



質問の内容

- ① ぱん屋に入って何年？
- ② パン屋に入って良かったこと
- ③ パン屋に入ってびっくりしたこと気づいたこと
- ④ これからの目標
- ⑤ 要望・感想等



- ① 3ヶ月
- ② 良かった点は今まで何度か一般の会社に勤めて精神障害が起り仕事を辞めざるを得なかったが、当所では同じ様な障害をかかえた人達と働けるし、周りのスタッフのかたがたも親切で優しく安心して働ける所が良い点です。
- ③ 休憩室で寝ている人がいることでした。
- ④ 今、やっているピーナツ煎りを一人で安心して任される様努力して、いずれはパン作りの工程をやりたいです。
- ⑤ 特に、要望はありません。体調を整えて急に休んだりしない様頑張ります。 K. S

- ① 6年10ヶ月が過ぎ一日一日を終えて、今考えることは感謝の気持ちで一杯です。
- ② 特に嬉しく思っているのは、亀パンとあんこ練りは自分に責任を持たせてくれている事と村パン・亀パンやあんこを使っているパンが売れると凄く嬉しいです。
- ③ 一つのパンが商品になるまでの行程は一人でなく、早朝からパンを焼く人・袋詰めをする人が居て商品が出来ることに感謝。
- ④ 今後も今の職場を利用しながら、生活のリズムを崩さずに生活して行きたいと思っています。
- ⑤ 仲間へ感謝の気持ちが一杯です、ありがとう。 今田

- ① 10ヵ月
- ② 小川さんと出会えたところ
- ③ 色々な症状の人がいること
- ④ 自立すること
- ⑤ できれば最終就職の場になりたい。 K. S

- ① 8年6ヵ月
- ② 自分の仕事が社会のためになっていると思う。
- ③ 仕事をするのが性に合っている。
- ④ 今の生活のリズムを維持すること。
- ⑤ 今の生活環境が変らなければよい。 Y. I

村のぱん屋・SUN に新しく職業指導員として2名入りました。2名とも一般のパン屋で約10年の経験があります。同じ質問に答えてもらいました。よろしくお願ひします。

- ① 10ヶ月
- ② 色々な体験が出来た。
- ③ みんながよく働くところ。
- ④ 新しいパンをたくさん作る。
働きやすい職場にしたいです。
- ⑤ 頑張ります。毎日食べてますが、モーニングがおいしくて飽きません。

指導員 大道洋介

- ① 1ヶ月
- ② 利用者さんがよく働いてくれること。
- ③ 行橋や宇佐にも卸していること。
- ④ まずは、一通りの仕事を確実におぼえる。
- ⑤ 先輩方のやさしい心配りに感謝しています。

指導員 難皮正裕



喫茶虹 オープンしました！！

やっと、浄化槽拡張工事も済み、昨年10月より待ちに待った喫茶をオープンしました。

今では、常連のお客様もお見えになるようになりましたが、まだまだ沢山のお客様に来て頂くほどは知られていないのが、現状です。(今なら穴場です！！)

未熟者の私たちですが、これからもお客様との縁を大切に真心をこめたおもてなしを心がけていきたいです。

喫茶スタッフ 前田 美津恵

M E N U AM7:30~PM4:00

モーニングセット.....300円

トースト・目玉焼き・サラダ
デザート・ドリンク

当店自慢の食パンを使いました。
パン屋だから出来るこの価格

カレーセット.....500円

カレー・サラダ・デザート

たくさんの季節の野菜をじっくり煮
込んだカレーです

肉みそ丼セット.....500円

肉みそ丼・サラダ・デザート

手間隙かけてじっくり練り上げた
味噌ダレを使いました。

ロールケーキセット.....300円

ロールケーキ・ドリンク

(抹茶・チョコ・黒豆・みかん・あずき)

ぱん屋のスイーツ5種の
なかからなんと2種類選

Drink.....200円

- ・コーヒー(ホット・アイス)
- ・カフェチーノ
- ・オレンジジュース
- ・アップルジュース
- ・ミルク(ホット・アイス)

ランチを食べた方は、
ランチ+100円で飲めます。

夏季限定

かき氷 大 500円 小 300円

- ・宇治金時
- ・いちごフラッペ

しあわせのふあふあかき氷です

喫茶店の仕事は楽しい
です。

作るのも、お客様とお話す
るのも好きです。

もっとお客様こないかな
あ～

たけし

村のぼん屋・SUN はこんな方々にささえられています

値段以上の最高の味です。その時々具材を工夫して使ったパンもあって、とてもおいしいです。子ども達も、おかわりを楽しみにしています。 中津の学童クラブの先生より

平成22年12月25日のクリスマスの日、日本財団主催による若松オートレース場での出店に伴うお手伝いをさせていただきました。

日頃、付けた事の無いエプロンを付け、朝10時から夜9時まで、職員の堀さんと松崎さんの3人でパンの販売をしました。レース場という場所でパンが売れるのか不安な部分もありましたが夕方には全て完売し、また、パンだけでなくクッキーやピーナッツ等、お土産として買われていくお客さんも多く、大変喜ばれ無事に販売を終了することができました。私自身は役に立たなかったのですが、職員お二人の慣れた手つきとお客さんへの配慮、質問されることに丁寧にお答えする等、その姿に勉強させられました。

パンを作るだけでなく、お客さんの手に渡るところまでが仕事であり、お客さんとのコミュニケーションの大切さに気づかされました。

今回、日頃とは違う分野の仕事ができ良い体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。いつも「買う側」だった私でしたが「売る側」の気持ちを知る事で、またさらにパンをおいしく頂く事ができます。これからもがんばってください。

豊前市社会福祉協議会 橋本幸司

次のような民間助成を受けました。ありがとうございました。

- ・共同募金会より300万円の助成を受け、浄化槽の拡張を行いました。
- ・みずほ福祉財団より100万円の助成を受け、大型ミキサーを購入しました。

商品紹介

ピタパン

自家製のポケットパンにカマンベールチーズと人参サラダのゼリー寄せを詰めた

‘野菜ピタパン’

鶏の照り焼きときんぴらごぼうのゼリー寄せを詰めた‘照り焼きピタパン’

考えぬいた二品です。

手煎りピーナッツ

豊後高田より生ピーナッツを仕入れフライパンで約25~30分間極弱火で煎っています。

市販されているピーナッツとは一味違い噛むとジワーと甘みが出てきます。人気商品のひとつです。

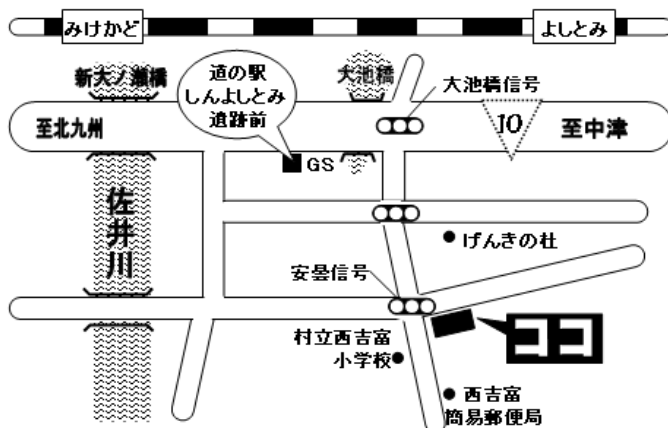
村のぱん屋・SUN会員賛助会員募集	
趣意書	<p>すべての人々にとって、働くことは生活していく手段であると同時に、成長を遂げていく場でもあります。</p> <p>しかし、障がい者は働きたいのに受け入れてくれる所がない、受け入れられてもついていけないなど、多くの方が悩んできました。</p> <p>村のぱん屋・SUNでは、このような人達に働く場の提供をすること同時に、これまでの活動で得た経験をもとに、相談を受けたり地域との交流の場を広げるべく活動をしています。</p> <p>このような活動をしていくには、多くの方々の御協力なくては実現できません。</p> <p>御支援お願いいたします。</p>
目的	村のぱん屋・SUNの活動運営資金
会員	障がい者自立支援事業に対する活動を理解、賛同し、会費を納めた方を会員とします。
会費	<p>正会員…入会金1,000円 年会費3,000円 総会出席可</p> <p>賛助会員…年会費一口1,000円（何口でも可、年毎の変更も可）</p> <p>会費の納入には、下記の郵便振替口座を御利用ください。</p> <p>郵便振込先 口座番号：01780-112298 加入者名：村のぱん屋・SUN</p>
会員・賛助会員には、会報を送付します。	

販売日 店舗・喫茶 虹

水 木 金 土 日曜日 AM7:30～PM4:00
(売り切れる場合もあります)

作業日

火曜日
7:00～17:00
水～日曜日
1:30～17:00



編集後記

初めて『村のぱん屋・SUNだより』の編集に参加して、大変さがわかりました。又、気持ちよく原稿を書いていただきご協力に感謝致します。

松崎